

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州貨物鉄道施設保有株式会社
会社概要	会社の事業概要	1 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付 2 倉庫業 3 駐車場業 4 広告業 5 前各号に付帯関連する一切の事業
	資本金額	400,000 千円
	本市の出資額	196,000 千円
	本市の出資割合	49.0 %
	従業員数	2 人
営業報告の要点		<p>施設の維持管理については、北九州貨物ターミナル駅において、電子連動装置延命化工事、入換信号機等 LED 化工事（第2期取替工事）、構内カメラ及び関連設備取替工事、総合事務所冷暖房設備取替工事、女性設備新設工事を日本貨物鉄道株式会社の施工で行った。</p> <p>収支状況について、日本貨物鉄道株式会社からの施設貸付料収入は、304,062 千円（前期比 6.0%）となった。</p> <p>また、売上原価・販売費及び一般管理費は 221,837 千円（前期比 -1.6%）となった。</p>
収支状況の要点	当期純利益	2,544 千円
	前年度との比較	<p>○営業利益は、82,223 千円で、前期比 20,882 千円（34.0%）の増となった。</p> <p>○経常利益は、36,471 千円で、前期比 29,244 千円（404.6%）の増となった。</p> <p>○当期純利益は、2,544 千円で、前期比 141 千円（5.3%）の減となった。</p>
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	北九州貨物ターミナル駅整備（門司貨物拠点整備事業）及び鹿児島線鉄道貨物輸送力増強事業に係る借入金について、183,250 千円の返済を行った。
繰越利益剰余金		11,140 千円
株主総会 （令和4年6月28日開催）	監査報告	監査役が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第23期計算書類承認の件</li> <li>・ 第2号議案 取締役5名選任の件</li> <li>・ 第3号議案 監査役2名選任の件</li> <li>・ 第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件</li> </ul> <p>いずれの議案も異議なく承認可決</p> <p>(2)報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第23期事業報告の件</li> </ul>

# 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## 令和3年度 経営状況報告

令和4年8月18日  
産 業 経 済 局

## 第 2 3 回定時株主総会

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 開催日時 令和4年6月28日（火曜日）16時00分より
2. 開催場所 福岡県北九州市小倉北区浅野1丁目1番1号  
ステーションホテル小倉 7階「響の間」
3. 会議の目的事項

### 【報告事項】

第23期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)事業報告の件

### 【決議事項】

第1号議案 第23期(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)  
計算書類承認の件

第2号議案 取締役5名選任の件

第3号議案 監査役2名選任の件

第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

## 第23回定時株主総会議案書

### 報告事項

第23期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）事業報告の件（別紙）

### 決議事項

第1号議案 第23期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）計算書類承認の件（別紙）

第2号議案 取締役5名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第20条により、取締役の任期は、2年と定めており、現 中川哲朗取締役、小西一史取締役、池永紳也取締役、辻誠治取締役及び金谷淳史取締役が任期満了となります。

よって、下記のとおり、取締役5名の選任をお願い致します。

取締役候補者は、次のとおりです。

取締役候補者名	略 歴 等
中川 哲朗	重 任
岩奥 修次	新任・略歴等別紙
池永 紳也	重 任
辻 誠治	重 任
金谷 淳史	重 任

第3号議案 監査役2名選任の件

北九州貨物鉄道施設保有株式会社の定款第33条により、監査役の任期は、4年と定めており、現 成瀬浩司監査役が任期満了前に辞任されました。

また、三輪敦監査役が任期満了となります。

よって、下記のとおり、監査役2名の選任をお願い致します。

監査役候補者は、次のとおりです。

監査役候補者名	略 歴 等
志田 琢生	新任・略歴等別紙
三輪 敦	重 任

第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

取締役小西一史氏は、本総会終結の時をもって退任されますので、在任中の功労に報いるため、当社役員退職慰労金算定内規に従い、相当額の範囲内において慰労金を贈呈いたしたいと存じます。具体的金額、贈呈の時期、方法等は取締役会の協議に一任いただきたいと思います。

退任取締役候補者名	略 歴 等
小西 一史	平成28年6月17日 定時株主総会にて取締役選任
	平成29年6月15日 第81回取締役会にて専務取締役
	現在に至る

# 第 23 期

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月 31日まで

# 事 業 報 告

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

# 事業報告

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

## I. 株式会社の現況に関する事項

### 1. 事業の経過及びその成果

平成11年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助並びに北九州市の門司鉄道コンテナターミナル整備支援事業費補助を受け着手した、門司貨物拠点整備事業の設備が平成14年3月に完成し、また平成19年度から国の幹線鉄道等活性化事業費補助を受け着手した、鹿児島線（北九州・福岡間）鉄道貨物輸送力増強事業の設備が平成23年3月末に完成しました。

これら施設の当該事業年度における維持管理は、北九州貨物ターミナル駅において、電子連動装置延命化工事、入換信号機等LED化工事（第2期取替工事）、構内カメラ及び関連設備取替工事、総合事務所冷暖房設備取替工事、女性設備新設工事、福岡貨物ターミナル駅においては、コンテナホーム舗装その他修繕工事を日本貨物鉄道株式会社施工で実施しました。

当社は、鉄道施設を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することで成り立っておりますので、今後とも鉄道施設の維持・管理に努めてまいります。

当事業年度の施設使用料は、日本貨物鉄道株式会社との「鉄道施設等の使用に関する契約」に基づき、304百万円となり、長期借入金返済については、みずほ銀行へ46百万円及び日本政策投資銀行へ136百万円の返済を行いました。

売上原価191百万円、販売費及び一般管理費は30百万円となっております。

以上のような状況のもと、経常利益は36百万円、特別損失31百万円となり、当期純利益は2.5百万円となりました。

### 2. 当社が対処すべき課題

当社の主たる事業は、国、並びに北九州市の補助金を受けて構築した設備を日本貨物鉄道株式会社に賃貸することであり、財産の保守・維持管理が重要となっております。

そのため、日本貨物鉄道株式会社と締結した「鉄道施設の使用及び保守に関する協定」及び「補助金で取得した財産の改良に関する覚書」に則り、定期的に使用実態の確認を行い、財産管理の徹底と、適正な保守及び維持管理に努めてまいりますとともに、健全な会社運営を維持するために効率的な資金計画を策定し、日本貨物鉄道株式会社と打ち合わせながら、着実な長期借入金の返済を行ってまいります。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により社会経済活動が停滞しており、3回目ワクチンの接種が準備される等、改善への兆しも見え始めてはいるものの、先行きは依然不透明な状況にあります。物流業界においては、EC市場の急拡大による輸送需要の変化など、Withコロナ時代への対応が求められるとともに、少子高齢化に伴い労働力不足の深刻化、2024年問題（トラックドライバーの時間外労働時間の上限規制）への対応が求められ、物流DXの推進やフィジカルインターネット実現に向けた動きなど、物流生産性向上に向けた取組みが進んでいます。そのようななか、環境特性や労働生産性に優れ、幹線物流を担う貨物鉄道輸送の期待が高まっており、この様な状況に 대응するため、日本貨物鉄道株式会社と北九州市との連携を深め地域の発展に寄与してまいります。

### 3. 資金調達の状況

当期は、増資はありません。

### 4. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区分	期	第21期	第22期	第22期	第23期
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	(当期) 令和3年度
売上高	(千円)	298,461	292,187	286,765	304,062
経常利益	(千円)	4,691	4,636	7,227	36,471
当期純利益	(千円)	2,461	2,387	2,685	2,544
1株当たり当期純利益	(円)	307.70	298.38	335.66	318.08
総資産	(千円)	2,914,486	2,723,864	2,531,632	2,351,506
純資産	(千円)	403,523	405,910	408,596	411,140

### 5. 主要な事業内容及び事業所

#### (1) 事業内容

当社は、(i) 鉄道施設の改良工事及びその施設の貸付、(ii) 倉庫業、(iii) 駐車場業、(iv) 広告業、(v) 前各号に付帯関連する一切の事業を営むことを目的としております。

#### (2) 事業所

本 社 所 在 地 北九州市門司区大里新町11番1号

### 6. 使用人の状況

令和4年4月1日現在

性別	従業員数	記 事
男子	1名	契約社員
女子	1名	契約社員
計	2名	

### 7. 主要な借入先及び事業別の借入残額

(単位：千円)

事業名 借入銀行	門 司 事 業	鹿児島モーダル事業	合 計
日本政策投資銀行	0	477,600	477,600
みずほ銀行	767,000	673,650	1,440,650
計	767,000	1,151,250	1,918,250

## II. 株式に関する事項

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1. 発行可能株式の総数 | 32,000株 |
| 2. 発行済株式の総数  | 8,000株  |
| 3. 株主数       | 3名      |
| 4. 株主名       |         |

株主名	持株数	持株比率	株主への当社の出資状況
日本貨物鉄道株式会社	3,920株	49.0%	なし
北九州市	3,920株	49.0%	なし
株式会社みずほ銀行	160株	2.0%	なし
計	8,000株	100.0%	

### Ⅲ. 会社役員に関する事項

#### 1. 取締役及び監査役の氏名等

令和4年4月1日 現在

氏名	地位	他の法人等の役職
中川 哲朗	代表取締役社長	日本貨物鉄道(株) 九州支社長
小西 一史	専務取締役	常勤取締役
池永 紳也	取締役	北九州市 産業経済局理事
辻 誠治	取締役	北九州市 港湾空港局長
金谷 淳史	取締役	日本貨物鉄道(株) インフラ整備推進部長
(小計)		(5名)
成瀬 浩司	監査役	(株)みずほ銀行 産業基盤第二部長
三輪 敦	監査役	日本貨物鉄道(株) 財務部副部長
(小計)		(2名)
合計		7名

- (注) (1) 取締役 池永紳也氏、辻誠治氏及び金谷淳史氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
- (2) 監査役 成瀬浩司氏及び三輪敦氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

#### 2. 取締役及び監査役の報酬等の額

(単位：千円)

区分	人数	報酬等の額	適用
取締役	1名	8,311	



## 第 23 期

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

## 計 算 書 類

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

# 貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

代表者 中川 哲朗

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>【 I 流動資産】</b>	<b>【 76,297 】</b>	<b>【 I 流動負債】</b>	<b>【 144,323 】</b>
現金・預金	76,145	1年以内返済長期借入金	129,000
前払費用	151	未払費用	272
		未払利息	3,445
		未払法人税等	2,676
		未払消費税等	8,728
		預り金	200
<b>【 II 固定資産】</b>	<b>【 2,275,209 】</b>	<b>【 II 固定負債】</b>	<b>【 1,796,041 】</b>
有形固定資産	( 1,515,144 )	長期借入金	1,789,250
建築物	305,843	役員退職慰労引当金	6,791
構築物	3,518,017		
機械・装置	45,078		
建物付属装置	48,823		
工具器具備品	1,039		
土地	10,503		
減価償却累計額	△ 2,414,160	<b>負債の部合計</b>	<b>1,940,365</b>
		<b>純資産の部</b>	
無形固定資産	( 759,624 )	<b>【 I 株主資産】</b>	<b>【 411,140 】</b>
電話加入権	72	1. 資本金	400,000
鉄道軌道連絡通行 施設利用権	759,552	2. 利益剰余金	11,140
		その他利益剰余金	11,140
		繰越利益剰余金	11,140
投資等その他の資産	( 439 )	<b>【 II 評価・換算差額等】</b>	<b>【 0 】</b>
繰延税金資産	439		
		<b>純資産の部合計</b>	<b>411,140</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,351,506</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>2,351,506</b>

(注) 1. 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株あたりの当期純利益 318円08銭

損 益 計 算 書

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月 31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
施設貸付料		304,062
<b>【売上原価】</b>		
租税公課	24,319	
減価償却	164,391	
補償負担金手数料	2,370	
		191,081
売上総利益		112,980
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	30,757	30,757
営業利益		82,223
<b>【営業外収益】</b>		
受取利息	0	
雑収入	0	
<b>【営業外費用】</b>		
支払利息	45,753	45,753
経常利益		36,471
<b>【特別損失】</b>		
固定資産除却損	31,754	31,754
税引前当期純利益		4,717
法人税、住民税及び事業税	2,345	
法人税等調整額	△173	2,172
当期純利益		2,544

(注) 金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 販売費及び一般管理費の計算内訳

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

役員報酬	8,311,200
出向者負担金	0
従業員給与	6,495,120
従業員賞与	1,862,100
法定福利費	2,594,796
福利厚生費	71,310
役員退職慰労引当金繰入	1,385,200
通勤費	362,960
租税公課	3,069,344
旅費交通費	501,147
通信費	324,401
広告宣伝費	361,100
交際費	385,330
保険料	88,370
消耗品	207,369
減価償却費	75,345
地代家賃	289,830
修繕費	0
貸借料	1,429,000
車両費	71,423
管理諸費	1,676,300
図書新聞費	129,338
諸会費	97,500
少額備品	0
リース料	786,560
寄付金	1,000
会議費	134,072
公告料	0
支払手数料	46,990
雑費	0
合計	30,757,105

## 棚卸資産の計算内訳

令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

商	品	0
製	品	0
貯	蔵	0
仕掛品(半製品)		0
合計	計	0

## 株主資本等変動計算書

商号 北九州貨物鉄道施設保有株式会社

3年 4月 1日から  
4年 3月31日まで

(単位：円)

### I 株主資本

#### 1. 資本金

当期首残高		400,000,000
当期変動額		0
当期末残高		400,000,000

#### 2. 利益剰余金

##### (1) その他利益剰余金

##### 繰越利益剰余金

当期首残高		8,596,154
当期変動額		
当期純利益	2,544,659	2,544,659
当期末残高		11,140,813

##### その他利益剰余金合計

当期首残高		8,596,154
当期変動額		
当期純利益	2,544,659	2,544,659
当期末残高		11,140,813

#### 株主資本合計

当期首残高		408,596,154
当期変動額		
当期純利益	2,544,659	2,544,659
当期末残高		411,140,813

### II 評価・換算差額等

当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0

### III 新株予約権

当期首残高		0
当期変動額		0
当期末残高		0

### 純資産の部合計

当期首残高		408,596,154
当期変動額		
当期純利益	2,544,659	2,544,659
当期末残高		411,140,813

## 第 23 期

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月31日まで

## 個別注記表

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産  
定額法を採用しています。
- (2) 無形固定資産  
定額法を採用しています。

### 2. 引当金の計上基準

- (1) 役員退職慰労引当金  
役員が役員退職慰労金支給に備えるため、内規に基づき期末要支給額を計上しております。

### 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### 4. 税効果会計の適用

法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しております。

## II. 貸借対照表に関する注記

- 1. 有形固定資産の減価償却累計額 2, 414, 160千円

## III. 損益計算書に関する注記

- 1. 関係会社との営業取引収入総額 304, 062千円
- 2. 関係会社との営業取引支出総額 1, 429千円

## IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

- 1. 発行済総数 8, 000株

## V. 税効果会計に関する注記

### 1. 繰延税金資産の発生原因内訳

未払事業税	439千円
合計	439千円

VI. 関連当事者との取引に関する注記

1. 名称	日本貨物鉄道株式会社		
取引内容	営業取引	議決権割合	49%
		営業収益	304,062千円
		営業外収益	0千円
		営業費用	1,429千円
		営業外費用	0千円

VII. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額	51,392円60銭
2. 一株当たり当期純利益金額	318円8銭

VIII. 会計方針の変更

特記無し

(注) VII以外の金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## 第 23 期

令和 3年 4月 1日から  
令和 4年 3月 31日まで

## 計算書類に係る 附属明細書

(会社法第435条第2項による)

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価格	当期			期末 帳簿価格	減価償却 累計額	取得原価
			増加額	減少額	償却費			
有形固定資産	建物	147,604	0	0	8,757	138,847	166,995	305,843
	建物附属設備	2,123	0	49	720	1,353	47,470	48,823
	構築物	1,504,230	0	31,704	108,944	1,363,581	2,154,436	3,518,017
	機械及び装置	1,177	0	0	398	778	44,299	45,078
	器具及び備品	156	0	0	75	81	958	1,039
	土地	10,503	0	0	0	10,503	0	10,503
	計	1,665,794	0	31,754	118,896	1,515,144	2,414,160	3,929,304
無形固定資産	電話加入権	72	0	0	0	72	0	72
	通行施設利用権	805,123	0	0	45,570	759,552	580,758	1,340,310
	ソフトウェア	0	0	0	0	0	4,960	4,960
	計	805,195	0	0	45,570	759,624	585,718	1,345,342
総計	2,470,990	0	31,754	164,467	2,274,768	2,999,878	5,274,647	

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

2. 引当金の明細

(単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	0	0	0	0
賞与引当金	0	0	0	0
役員退職慰労金	5,406	1,385	0	6,791
退職給付引当金	0	0	0	0

(注)記載金額につきましては、千円未満は切り捨てて表示しています。

※引当金計上理由及び算定方法は計算書類の会計方針に記載のとおりです。

令和 4 年 6 月 6 日

北九州貨物鉄道施設保有株式会社  
代表取締役社長 中川 哲朗 殿

監 査 役 三 輪 敦



監査報告書の提出について

会社法第381条1項の規定に基づき、別紙のとおり監査報告書を作成いたしましたので提出いたします。

以 上

令和 4 年 6 月 6 日

監査役監査報告

北九州貨物鉄道施設保有株式会社

監査役 三輪 敦

第23期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、監査方針、監査基準及び監査計画を定めた上で調査を行い、監査を実施しました。監査にあたっては、管理部の職員を補助として使用して調査等を行いました。

具体的には、取締役会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当社の取締役等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求め調査を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当社の状況を正しく表示しています。
- (2) 取締役の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類とその附属明細書は当社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上